

勇建設株式会社

所在地 北海道札幌市中央区北6条西14丁目4番地

従業員数 98人

事業内容 建設業

(令和3年7月末現在)

健康経営に取り組むようになったきっかけ

当社のCSR行動憲章の1つである「社員一人ひとりが活力にあふれ意欲をもって働ける職場づくりを推進する」というCSR行動憲章の理念と合致し健康経営に取り組むことといたしました。当社を含め建設業界は高齢化に伴うベテラン技術者の退職、担い手不足という問題を抱えておりました。当社においても職員の高齢化に伴う健康面への配慮ということが喫緊の課題でした。健康経営に取り組むことにより職員自身の健康に対する意識改善が図られ、また、人生100年時代に対応する良好な健康状態を維持することができると考えました。仕事面においても、働きがい・働きやすさ・生産性の向上といったモチベーションアップ、組織の活性化にも繋がり、対人面においても企業ブランドイメージの向上に繋がると考え取り組むことといたしました。

特に力を入れた取り組みとその効果

健康経営を推進するにあたり特に力を入れたことは受動喫煙対策でした。健康経営取組前では社屋内に個室の喫煙スペースを設置しておりましたが、換気が不十分であったり、喫煙室外部に煙が漏れ出す等完全な状態の喫煙スペースではありませんでした。会社としても職員の健康を第一に考え、社屋敷地内に独立した喫煙室を設置することで受動喫煙の防止を図り、完全分煙化をすることといたしました。屋外喫煙室設置当初、喫煙者からは離れた場所で喫煙する事に抵抗感を持つ職員も多数いましたが、実施後の効果としては非喫煙者からは匂いが気にならなくなったとの声も聞かれるようになりました。また、喫煙室を社屋内から社屋外に移したことにより、社内の喫煙者、一人当たり喫煙本数は減少しました。



本社敷地内に設置した喫煙室



喫煙室内部

岩田地崎建設株式会社

所在地 北海道札幌市中央区北2条東17丁目2番地

従業員数 798人

事業内容 建設業

(令和5年4月末現在)

健康経営に取り組むようになったきっかけ

従業員の平均年齢も上がってきており、定期健康診断やストレスチェックの結果を踏まえ、個人の健康に対する意識の向上と改善のため健康経営に取り組むようになりました。

企業が持続的な成長を続けていくためには従業員やその家族の健康保持増進、また安心して働ける職場環境の整備が欠かせないと考え、従業員のモチベーションや生産性のアップ、企業価値の向上に繋がるよう取り組みを続けています。

特に力を入れた取り組みとその効果

健康診断や人間ドックの受診率向上と、健康管理に対する意識付けを図るため、指定医療機関での受診費用全額負担、指定医療機関以外での受診費用補助を行っています。

更に、有所見者の二次健診費用補助を行うことで受診率の向上に繋がってきています。**また禁煙外来治療費用補助を行い、禁煙の後押しをしています。**

社内医務室に高気圧酸素室を設置し、体の免疫力を高めたり、疲労回復の為に利用しています。他には、毎日の朝礼時にケガ防止とリフレッシュを兼ねて、ラジオ体操を行っています。社内には運動系のサークル(野球・マラソン・サイクル・フットサル)もあり、従業員同士のコミュニケーションや体力の向上等、健康経営にも一役買っています。これらの長年続けている取り組みも健康経営に活かしていきたいと考えています。



体の免疫が高められる高気圧酸素室



マラソンサークル 2020 年秋

ホームページ

<http://www.iwatachizaki.jp/csr/csr/20200323.html>

道路建設株式会社

所在地 札幌市北区北7条西4丁目3番地1 新北海道ビル12階

従業員数 113人

事業内容 舗装及び一般土木工事

(令和5年6月末現在)

健康経営に取り組むようになったきっかけ

当社では従来から社員の健康に関心があったものの、健康経営についての具体的な取り組みを進めるまでには至っていませんでした。2020年に変わった経営トップの強い意向によって、健康経営の概念とリンクさせながら、社員の健康を向上させる様々な取り組みをスタートしました。

経営者にとって健康経営に取り組むことは自然な流れでした。「企業は人」であり、社員の健康は最も大切にしなければいけないことと認識しています。弊社では、社員が良い仕事をするためには心身ともに健康であるべきで、ウェルビーイングが向上することにより企業業績にも反映されると考えています。また、生産性の向上及び働き方改革を推進する上でも、健康経営に取り組むことは必要と考えています。

弊社は社員が創出する成果を最大化していくためにエンゲージメントを高めたいと考えていますが、大前提として社員が健康体で充実感をもって仕事に取り組んでもらうことが必要だと感じています。社員が心身共に健康だからこそ一体感が生まれる土台があり、チームワークが向上することで組織が強くなり、社員全員が楽しく仕事することで、お客様及び社員がそれぞれ幸せになれるよう、健康経営に全力で取り組んでいきます。

特に力を入れた取り組みとその効果

「こころの健康づくり」に特に力を入れ、様々な取り組みを進めています。弊社では社内外にメンタルヘルス相談窓口を設置しており、社外の相談窓口は病院と公認心理士の2箇所です。相談者がセカンドオピニオンを求めた際にも対応できる体制を整えています。また、生活習慣が及ぼすメンタルヘルスへの影響について外部講師による研修を実施し、食生活、運動、睡眠の側面から「こころの健康」を見直す指導をしています。

2022年度より禁煙対策も強化し、非喫煙者には「非喫煙手当」を支給しています。同時に「禁煙治療費用補助金支給制度」を導入し、これにより禁煙を希望する社員が禁煙外来を受診する費用の自己負担がなくなります。非喫煙者へのインセンティブのみではなく、喫煙者へのサポートの両輪で禁煙対策を実施しています。

健康経営を続ける中で、社員の意識も変わってきました。「ベジチェック」をレンタルした際には興味津々、楽しんで体験したり、社員同士の運動サークルも活発に活動しています。社員は家族であり「どうしたら心身共に健康に、快活に過ごすことができるのか」を考え、改革を進めています。これからも「働きやすく働きがいのある会社」を目指します。



「ベジチェック」を
安全大会会場に
設置！



社内サークルには
会社からの費用補助あり！

ホームページ

https://www.douken.co.jp/system/health_management/

株式会社本田組

所在地 釧路市鳥取大通8丁目4番20号

従業員数 33人

事業内容 総合工事業（公共工事の請負を主とする土木工事業）

（令和6年7月末現在）

健康経営に取り組むようになったきっかけ

あらゆる業界で人手不足が大きな課題となるなか、我々建設業においても人員の確保が最大の懸念材料となりました。

少子高齢化が進み労働人口が減少するなか、ICTの活用や海外からの労働力の獲得等にも取り組まなければならない状況ですが、企業経営にとって何より大事なものは、今現在雇用している全ての従業員が安心して、健康で長く働き続けることができる環境であり、それには、従業員の家族も健康でなければ仕事に専念することができないことから、家族を巻き込んだ健康管理の必要性・重要性に気付きました。また、個人面談での悩みの確認や相談を受けるなかで、心と身体の健康が何より大切な取組みだと再認識する機会があり、健康経営に取り組むことにしました。

特に力を入れた取り組みとその効果

年に一度の健康診断を受けるだけでなく、健康診断結果をもとに経営者・健康管理担当者から全職員に個別指導を行い、一人ひとり健康推進計画を立てて目標達成を目指すことで、自分自身の健康への関心が高まっていると思います。また、保険者からご提案をいただいた健康に対するアンケートを職員に回答していただくことにより、自己の健康管理における責任感が高まっていくことによって日々健康に対して気をつけて、改善意識の向上を図っていくことができています。（健康診断の活用）

代表者を務める私自身が超ヘビースモーカーでありましたが、煙草をやめて丸9年になります。社内も禁煙とし、少しずつ関与する形式で幹部職員からの説得等によりこれまで数名の従業員も禁煙に成功しています。（禁煙の促進）

今後は個人の健康推進計画への取組みに対して達成者にインセンティブを与える制度や家族の介護問題の支援にも取り組みたいと考えています。



安全大会における健康管理に対する注意喚起



経営者・健康管理担当者からの個別指導

ホームページ

<https://www.hondagumi.jp/category/blog>

株式会社タカヤ

所在地 岩手県盛岡市本宮五丁目5番5号

従業員数 203人

事業内容 総合建設業

(令和6年6月末現在)

健康経営に取り組むようになったきっかけ

当社は2020年に創業90年の節目を迎えました。

健康づくりに力を入れるきっかけは、健康を害し、仕事を離れざるを得なくなった従業員がいたことです。

健康経営は、経営理念に掲げている『社員の幸せを追求する』にも通ずるものがあり、“従業員が健康であることが社員満足につながる”という考えのもと、会社をあげて、健康診断項目の充実や社内禁煙などに取り組んでいます。

特に力を入れた取り組みとその効果

30歳以上の社員を対象に、検査項目の多い人間ドック受診を義務付け、費用を会社で負担しています。さらに、健康診断・人間ドック受診時は、1日の特別休暇を取得できます。

禁煙の推進も行っており、各部署での聞き取り結果等から確認し、非喫煙者には年間6万円の禁煙手当を支給しています。給与明細にも禁煙手当の欄を設け、家族からも後押ししてもらえるようにしました。その結果、全社の喫煙率は20%未満という低い水準を維持しています。

また、健康意識の向上を目的として、健康に関する情報を毎月1テーマ、社内イントラ掲示板で社員に配信しています。

運動にも力を入れており、運動機会を提供するため、施設利用料やスポーツ用品などを会社で負担し、社員が気軽に運動できるようにしています。毎年2回kencomのウォーキングイベントに参加していて、運動習慣のきっかけ作りと持続化を促すことができました。会社周辺清掃活動と組み合わせることで地域貢献にも繋がっています。



当社も協賛「いわて盛岡シティマラソン」



秋田駒ヶ岳登山

ホームページ

<https://takaya-net.jp/>

株式会社復建技術コンサルタント

所在地 宮城県仙台市青葉区錦町一丁目7番25号

従業員数 420人

事業内容 建設コンサルタント

(令和3年4月末現在)

健康経営に取り組むようになったきっかけ

弊社社長の菅原が就任した際、経営の柱として掲げた三つの方針のうちの一つが「健康経営」でした。何事も体が資本であり、社員にはまず心身ともに健康であって欲しいという思いが込められています。

そして、健康経営優良法人認定に挑戦したのは、その方針実現への取り組みを対外的にも認められるものにしようと考えたからです。

健康経営への取り組みは、特に若い方からの企業イメージアップにつながるのは勿論、社員に対するメッセージでもあります。弊社のような建設コンサルタントは人がすべて。社員の技術力と経験が資産かつ商品だからこそ、健康に留意して欲しい。その思いを発信することが大事だと考えています。

特に力を入れた取り組みとその効果

弊社では、定期健康診断でメタボ判定となった社員全員に特定保健指導を受けさせています。これをきっかけに食生活の見直しや自転車通勤に切り替える社員もあり、徐々にではありますが意識が変わってきたようです。また、土健保さんと「ベジチェック」を実施し、社員の野菜摂取不足の自覚を促しました。禁煙対策では、従来から分煙や喫煙時間を設けるなど受動喫煙対策を行っていましたが、2018年からは禁煙外来治療費補助金制度を導入し、2021年に漸く第1号の申請がありました。今後もっと申請者が増えるようPRしています。感染症対策では、土健保さんの協力の下、『手洗いチェッカー』で感染予防の基本である手洗いがきちんと出来ているか確認しました。参加者からは「念入りに洗ったはずなのに意外に汚れている」と驚きの声。改めて手洗いの難しさ・大切さを学びました。長時間労働対策、ワークライフバランス推進では、WLB推進委員会を設置し、研修、工程管理方法の見直し、業務効率化検討、コミュニケーションの活性化などに取り組んでおり、定期的な報告会で好事例を水平展開しております。



手洗いチェック。結構汚れ残ってます。



ベジチェック中。野菜摂れていますか？

ホームページ

<https://www.fgc.jp/csr/employee/index.html>

菱和建设株式会社

所在地 岩手県盛岡市みたけ1-6-30

従業員数 109人

事業内容 総合建設業

(令和6年6月末現在)

健康経営に取り組むようになったきっかけ

健康経営を重要課題として取り組むようになったきっかけは2点あります。

1点目は、社員のことを第一に考え、心身ともに健康的に働ける環境を整えたいという思いからです。建設業全体の課題でもある『建設業従事者の高齢化と担い手育成・確保』の課題に取り組んでいく中で、社員の健康に注目する事が課題解決の一步だと気づきました。ベテラン社員には『1日でも長く』健康に働きながら次世代への技術継承を、働き盛りの世代には健康を維持してパフォーマンスの高い仕事を、若い世代には健康を促進させる職場環境で働く事で、良い生活習慣を身に付けて健康を維持し、長く勤めてもらうことを、と考えました。

2点目は、全国土木国保組合様から、健康経営優良法人の認定がある事を伺い、弊社の取り組みを行っている内容の延長で企業価値を少しでも向上させる事ができればと思ったからです。実際に認定を受けた事で社外に知っていただく機会も増え、学生を対象にした採用活動では、事業内容や福利厚生と併せて『健康経営の取り組み』も弊社の強みとしてPRすることができています。

特に力を入れた取り組みとその効果

社員の労働時間改善に向け、完全週休二日制導入や残業が多い社員への声掛け、有給休暇の推奨、ノー残業デーの設定など、勤怠管理システムを導入して長時間労働対策に努めています。こうした労働意識の改善に取り組んできた結果、生産性を向上させ休みはしっかり取るという社内意識が醸成されました。

また、毎年新入社員への禁煙セミナーや希望者へ禁煙治療全額負担などの禁煙に対する取り組みを行っています。

さらに、運動の推進として、地元マラソン大会参加費用の負担や、社内で野球やサッカーイベント等を開催しています。姿勢の改善やエクササイズの効果への期待から、バランスボールも導入して希望者に椅子の代わりに利用してもらっており、運動が苦手という方にも好評です。

社員のヘルスリテラシー向上のためには、月に一度「健康だより」を作成・発行し、日常生活で手軽に取り入れる事ができる健康づくりの情報発信を行っています。

今後は食育の分野にも力を入れ、ヘルスアップチャレンジ助成金を活用したベジチェック測定を計画中です。野菜摂取量を見える化し、食育情報の提供を行うことで、どのくらい数値が改善されるか試しながら、取り組んでいきたいです。



バランスボールを導入しています！



月1回の
弊社オリジナル健康だより！

株式会社クリエイトセンター

所在地 新潟県新潟市中央区川岸町2丁目8番地1

従業員数 39人

事業内容 建設コンサルタント業

(令和6年7月末現在)

健康経営に取り組むようになったきっかけ

建設コンサルタント業を営む我が社は健康に不安を感じ始める40～50代の割合が多くなっています。若手社員も含めて社員一人一人が心身共に健康で長く働けることが会社の健康経営につながると考え、健康意識を高めるために、ヘルスアップチャレンジに参加することにしました。また保険組合から「健康経営優良法人」制度について助言をいただき、認定を受けました。

これをきっかけに会社と社員が一体となって、継続的な取り組みを毎年増やしていこうと考えています。

特に力を入れた取り組みとその効果

- ・受動喫煙防止対策として社内にあった喫煙室をなくし、リモートルームに改装しました。また、喫煙所は屋外の指定場所に移動したことで、喫煙室前を通ると気になっていたタバコのニオイや壁の汚れが解消されてクリーンな環境が整いました。
- ・健康診断受診率は毎年100%を達成しています。当社では30歳以上の社員は人間ドックを受診可能とし、費用は会社が全額負担しています。人間ドック受診日は特別休暇を付与しています。また、健康診断受診後に再検査や治療が必要な社員には担当者が受診を促します。
- ・インフルエンザ予防接種費用は保険組合の補助額との差額を会社が負担し、感染症予防に努めています。
- ・毎日朝礼時と昼休憩後にラジオ体操を行っています。朝は体をシャキッと目覚めさせ、昼はデスクワークで凝り固まった体をほぐし、眠気予防にもなります。ボタン一つでラジオ体操の音楽が流れるブタの人形を使用して楽しい運動習慣にしています。



喫煙室をリモートルームに改装



ラジオ体操の音楽を流す電池式のブタの人形

ホームページ

<https://www.ngk-center.co.jp/>

清水建設株式会社

所在地 東京都中央区京橋三丁目 16-1

事業内容 総合建設業

従業員数 10,494人

(令和3年3月末現在)

健康経営に取り組むようになったきっかけ

「人生100年時代」の到来や更なるグローバル化の進行を見据えたとき、人財の多様化とともに、誰もが安心して長期的に活躍できる環境の整備が必要であり、その基盤は、従業員の心身の健康であると考えています。当社は、中期経営計画の重点戦略の一つとして、従業員一人ひとりの働きがいの向上に焦点を当て、KPIとして「働きがい指標」をおき、その指標の一つに「心身の健康」を掲げています。

従業員の健康増進と職場環境の改善といった『健康経営』の実践により、働きがいと幸福度の向上、より活力ある職場を実現するため、2020年9月に健康経営宣言を行い、健康経営について全社的な推進体制を整備することとしました。

加えて、性別に関わりなく仕事と家庭を両立し、健康でいきいきと仕事に取り組めることが当たり前となるような組織風土の醸成に向けて、直近では、男性従業員の育児・家事への参画を推進することにも積極的に取り組んでおり、2022年4月(予定)の男性版産休法制度化に先立ち、今年の10月より男性版産休を制度化し、子の出生後8週間以内に、最大4週間の休業を取得できることとしました。

今後も多様な働き方や生き方を応援する企業として、様々な施策を検討していきます。

特に力を入れた取り組みとその効果

特定保健指導の実施率向上に向けて、リーフレットを活用し、制度周知を図るとともに、申し込みを当社保健師が代行することで手続きを簡素化しています。また、就業時間中の保健指導は労働時間として認めています。結果として、受診率は大幅に改善しています。(健康増進生活習慣病対策)

改正健康増進法で、望まない受動喫煙を防止するための取り組みがルール化され、企業における受動喫煙対策の徹底が求められていることを踏まえ、2021年10月から勤務時間内禁煙をスタートします。また、本社診療所に禁煙外来を設置し、禁煙に向けたサポート体制を整えています。(禁煙対策)

子宮頸がん・乳がんといった女性特有の健康リスクに対応するため、土健保の検査費用補助を補填する形で会社独自の補助制度を設け、ほぼ自己負担無しで毎年検査が受けられる体制を整備しています。(女性特有の健康リスクへの対応)



特定保健指導教宣



禁煙週間教宣

ホームページ

<https://www.shimz.co.jp/company/csr/health/>

東洋ケミカルエンジニアリング株式会社

所在地 東京都港区六本木3丁目18-12

従業員数 127人

事業内容 建設業

(令和3年7月末現在)

健康経営に取り組むようになったきっかけ

当社の社訓には「企業は人とその和なり」とあります。やはり人と人との繋がりが大切です。そんな中、某生命保険会社様の担当社員の方からのお勧めもあり健康経営セミナーに参加して健康経営の仕組みを知りました。社員にも「良い職場環境の中で健康に働いてもらい、生産性を向上させることが出来れば」との思いから取組を始めようと思ったのがきっかけです。

社員が、今よりも健康で今よりも楽しく生活できるようにと願っております。

特に力を入れた取り組みとその効果

屋外喫煙所を特に設けていなく、漠然と「このあたりで」と言ってそこが屋外喫煙所となっていたが7月に屋外喫煙所を設けました。事務所から離れているため、タバコを吸いに行くのが「面倒だなあ」と思い、少しでも我慢→本数が減る→禁煙に繋がれば幸いです。また、健康経営担当者が喫煙と健康に関する資料を作成し喫煙者全員に配布をした。(禁煙対策)

※8月末のアンケートで2020年度喫煙率との差がみれる

全社員対象として部署ごとに分けて健康習慣アンケートを実施した。異変を感じられた部署の対象者には全員、外部カウンセラーがカウンセリングを実施している。(1グループ15名程度として個人が分からないように配慮) カウンセラーからは特に問題があるとの報告は受けていない。また、希望者にはカウンセリングを受けられる環境にしている。(心の健康づくり)



「健康経営宣言」と担当者の皆さま



喫煙所の設置風景

ホームページ

<https://toyochemical.com/recruit/event/>

飛島建設株式会社

所在地 東京都港区港南1-8-15 Wビル5F

事業内容 総合建設業

従業員数 1,319人

(令和6年6月末現在)

健康経営に取り組むようになったきっかけ

今後、会社が持続的に成長していくためには、多様な人材が集まり、自らの誇りと勤労意欲を維持することのできる、働きやすい職場環境の整備に一層力を注いでいかなければなりません。当社は、「会社と従業員が一体となり、皆が心身ともに健康で、活き活きと働ける会社づくりに取り組む」を方針として掲げ、「健康経営」に取り組んでいます。会社と従業員が「健康経営」の方針を共有し、有効な施策を立案、遂行することで、従業員の活力向上や生産性の向上等、組織に活性化をもたらし、結果的に業績や組織としての価値を向上させるものと考えています。

特に力を入れた取り組みとその効果

①スポーツによる健康づくり：スポーツ習慣の定着と社内コミュニケーションの活性化を目的に社内サークル規定を制定し、空手、テニス、ウォーキング、軽スポーツ等多数の運動系サークルが活動しています。

②病気の予防：人間ドック受診費用を会社で補助し、定期健康診断と合わせた年2回の健診受診を推奨、また有所見の場合の再検査等受診を就業時間(特別休暇)として認定するほか、禁煙治療費の補助や各従業員の健康活動をポイント化し、表彰する「トビシマ・ヘルスアップ・チャレンジ」を開催するなど、従業員の健康保持・増進への取り組みを促進する様々な施策を講じています。

③メンタルヘルス対策：全社が継続的かつ統一的にメンタルヘルスに取り組むためのガイドラインを制定し、方針、推進体制、役割、具体策を明確にするとともに、社内外の「心の相談窓口」を整備し、随時その周知を図っています。また、メンタル系調査の集団分析結果をもとに全社で課題を共有し、組織的に職場環境改善に取り組んでいます。

④ワークライフバランスの促進：従業員の多様なライフスタイルへの対応策として時間単位で取得可能な特別休暇制度「フレキシブル休暇」や、不妊治療や家族の看護、更年期障害等の理由により休暇を取得する場合に利用できる「ライフサポート休暇」を導入しました。



社内サークル「Tobishima Tennis Club」



トビシマ・ヘルスアップ・チャレンジ

株式会社ナカノフード建設

所在地 東京都千代田区九段北4-2-28

従業員数 797人

事業内容 総合建設業

(令和6年6月末現在)

健康経営に取り組むようになったきっかけ

健康経営に取り組むきっかけとして、いくつかの重要な理由が重なったことがあげられます。

まず、毎年何名かが在籍中に亡くなる社員や病気によって働けなくなってしまう社員が出てしまい、これをゼロにしたいという強い思いがありました。

次に、前任の社長が喫煙の危険性を強く危惧しており、禁煙対策に強い関心を持っていました。この姿勢が、健康経営の一環として禁煙対策を推進する大きな原動力となりました。

健康経営に取り組むにあたり、社員が健康であれば会社にもメリットがあるという認識が明確に存在しました。健康な職場環境を整えることは、社員一人ひとりの生活の質を向上させ、会社全体の生産性の向上に寄与します。他にも、病欠や医療費の削減、そして社員の満足度やモチベーションの向上など、多くのプラス効果が期待できます。

社員の健康促進は会社にとっても有益で、取り組むことで損をすることは何もないという考えに至りました。これらの理由から、健康経営に取り組むことを決断しました。

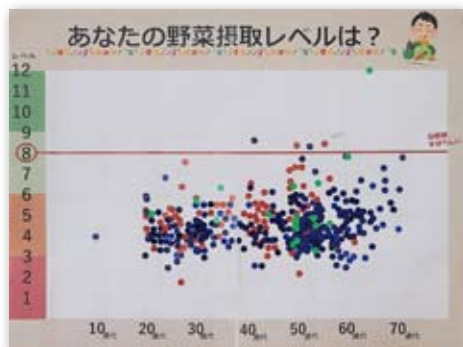
特に力を入れた取り組みとその効果

健康経営の取り組みの中で、特に力を入れたのは①食生活の改善と②禁煙対策です。

食生活の改善については、全社的にベジチェックを用いた測定会を行いました。東京地区では巡回健診の際に土健保から保健師・管理栄養士の方を派遣していただき測定会を実施、東京以外の拠点では測定と併せて野菜に関する講演会を行いました。社員の反応は非常に良く、「翌年の計測に備えて食事に気を付けるようになった」「まずは野菜ジュースを飲むようになった」などの行動変容が確認できる報告も多くありました。今年も全拠点でこの取り組みを継続します。

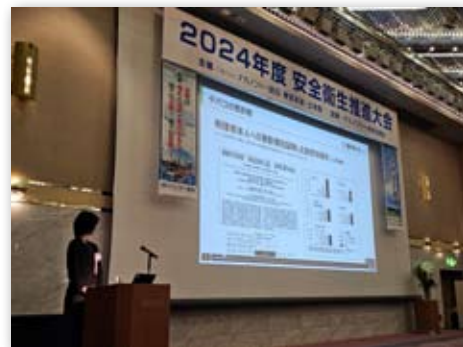
禁煙対策については、昨年社内で禁煙外来への通院補助を打ち出しましたが、応募は0件でした。しかし、来年1月から敷地内禁煙及び就業時間禁煙が開始されるため、さらなる支援策を検討した結果、(株)エーテンラボのサービス「みんなチャレ禁煙」について知り、導入を決定しました。募集期間中は全社員に定期的にメールで案内を送付し、イントラネットにお知らせを掲載。また、全拠点の安全衛生推進大会で「タバコの危険性」に関する動画を視聴してもらうなど、周知活動を推進しました。その結果、当初目標は20名に対して、96名もの応募がありました。

これらの取り組みは、健康経営の目標達成に向けた大きな一歩となりました。



東京地区
ベジチェックの結果

安全衛生推進大会
での発表の様子



ホームページ

<https://www.wave-nakano.co.jp/sustainability/health/>

日舗建設株式会社

所在地 神奈川県横浜市青葉区さつきが丘25-5

従業員数 28人

事業内容 建設業

(令和3年8月末現在)

健康経営に取り組むようになったきっかけ

当社は1973年に創立し今年で48年になります。当時は若い社員が多く、平均年齢も30歳でした。健康のことなど考えなくても、全員が元気で明るく働いておりました。10年程前より平均年齢が高くなり、動きが遅く感じられるようになりました。若い人を募集しても応募がないため入社はありませんでした。若い人が入社したくなる会社、また、年をとっても働きやすい会社になるにはどうしたらいいか考えておりました。

そんな時に、研修会で「健康経営」のお話を聞きました。当社では無理だろうと思っていましたが、担当者を決め、全国土木建築国民健康保険組合の方々からのご指導を受けてまいりました。その結果が実ってか2016年11月にチャレンジし、2017年2月21日に認定されました。

認定後も、社員で歩数を競い、ランキング化したり、年に一度健康診断と保健指導を受けたりして活動を続けております。そして2021年に入社した新入社員からは「健康経営があったのが決め手になりました。」と嬉しい言葉をもらいました。また、山梨から入社した、18歳の社員のお母様からも「信頼できる取組と伺っているので、安心して息子を預けられる」と入社を喜んでいただきました。結果として身体と会社相互に良く作用していると感じられます。

特に力を入れた取り組みとその効果

当社が最も力を入れていることは運動の推進です。歩くことで予防できる病気があるという思いを持ち横浜市で行われている「よこはまウォーキングポイント」に全社員が参加しています。1日7,000歩、1ヶ月200,000歩の目標をたて、社員一人一人の歩数を月末に集計し、ランキング化しています。それを月初の定例会議で発表し一番良く歩いた人には景品などを贈呈し、少ない人には意識の向上を促し、社員一同で楽しく取り組んでおります。また社内アンケートを取ったところ、健康になったと感じた割合が半数以上あり、効果を実感しています。

次に当社は受動喫煙対策にも力を入れており、屋内での禁煙、屋外での喫煙場所の指定をしていました。しかし、喫煙者が減少しない為、会議で何回も話し合い、禁煙者には手当を支給することにして、喫煙者が12人から9人に減少しています。

更に体の内からも体調管理をしようと考え、水素水整水器を設置しました。電解水素水による胃腸症状の改善が目的です。免疫力を高めることで、ウイルスなどの病原体から体を守ります。胃腸症状が良くなり、便秘も良くなり、胃の調子も良くなったと好評です。



出勤時の測定風景



健康管理に関するポスターの掲示

ホームページ

<https://www.nichiho-kensetsu.jp/>

ファインロードコンサルタント株式会社

所在地 新潟県新潟市西蒲区大潟 2031 番地

従業員数 15 人

事業内容 建設コンサルタント業、測量業

(令和5年6月末現在)

健康経営に取り組むようになったきっかけ

舗装構造診断、路面調査、測量、各種土質試験、アスファルト試験を営む弊社は、従業員の平均年齢が50歳近いことに加え、主要業務が室内試験及び現場作業という体を動かす仕事メインとなっており、心身の健康を維持することが業務を遂行していくうえで最も大切なことだと思っています。これらのことがきっかけとなり、心身の健康維持を継続するという目的で、健康経営に積極的に取り組むようにしました。

特に力を入れた取り組みとその効果

生活習慣病対策と健康維持のために、定期健康診断を充実させ、人間ドック、がん検診、婦人科検診の推進を行い、費用補助、特別休暇付与を実施しました。さらに検診で異常が見られた方は再受診を推奨するなど、積極的に恒常的な健康維持の確保に努めました。

また、禁煙日(スワン(吸わん)デー)を設定し、受動喫煙ゼロを目指す雰囲気作りに努めると同時に、適度な運動を行うということを目的に従業員参加型のウォーキングイベントを開催し、健康維持の意識付けを行いました。

さらに、従業員の健康意識を高めるために外部より管理栄養士を招き、従業員の食事のとり方などについて受講させています。

一方、コロナ及びインフルエンザ等のウィルス感染予防対策としては、従業員の毎朝の検温・記録を実施し、手洗いの励行、消毒液の設置などを細かく指導しています。



感染症予防対策 受付に消毒液を設置



組管理栄養士による講義風景

福田道路株式会社

所在地 新潟市中央区川岸町1丁目53番地1

従業員数 734人

事業内容 建設業（舗装工事業）

（令和4年6月末現在）

健康経営に取り組むようになったきっかけ

「人生100年時代」にあっては、企業人生における健康維持はもちろんのこと、その後の健康寿命延伸を現役時代から意識づけることで「人生設計」をアシストできます。従業員の健康管理は職員自身とその家族にとって、極めて重要な項目である一方、会社としても組織の総合力発揮に深くかわり、かつ経営的観点からも極めて重要との判断から、中期経営方針に「健康経営」を盛り込み、担い手不足が深刻化する建設業界において、従業員が生き生きと元気に働ける快適な職場づくりを目指しています。

特に力を入れた取り組みとその効果

健康管理や健康増進支援のための「FRCヘルスサポート2020」と称した取り組みを実施しています。

就業時間内完全禁煙の全事業所実施や、ほぼ全社員が参加するウォーキングイベントの開催、人間ドックの受診推奨と会社費用補助や対象年齢の大幅拡大、有所見者に対する再受診勧奨等を実施しています。

また、時間外労働の削減に向けては、振替休日の事前申請による休日出勤許可制等の徹底により、完全週休二日を実施し、勤怠管理の面からも職員の健康に配慮しています。



01 「FRCヘルスサポート2020」の取り組みについて

健康経営の推進と従業員の健康意識の向上を図るため、2020年からFRCヘルスサポート2020を実施しています。この取り組みは、従業員の健康意識の向上と健康寿命の延伸を目的として、就業時間内完全禁煙の全事業所実施や、ほぼ全社員が参加するウォーキングイベントの開催、人間ドックの受診推奨と会社費用補助や対象年齢の大幅拡大、有所見者に対する再受診勧奨等を実施しています。

① 健康経営の推進と従業員の健康意識の向上

健康経営の推進と従業員の健康意識の向上を図るため、2020年からFRCヘルスサポート2020を実施しています。この取り組みは、従業員の健康意識の向上と健康寿命の延伸を目的として、就業時間内完全禁煙の全事業所実施や、ほぼ全社員が参加するウォーキングイベントの開催、人間ドックの受診推奨と会社費用補助や対象年齢の大幅拡大、有所見者に対する再受診勧奨等を実施しています。

② 人間ドック受診の推奨

人間ドックの受診費用補助拡大

受診項目	年齢	補助額
人間ドック	45歳以上	20,000円
がん検診費用等の補助拡大	45歳以上	3,000円
がん検診費用	20歳以上	2,000円
がん検診費用	30歳以上	4,000円

人間ドック推奨を社内報でも告知



2日も！ 12日も！

22 禁煙の日

2のつく日は

スワン（吸わん）デー

Direction for Relation
福田道路株式会社

禁煙開始のきっかけを社内で啓発しています

ホームページ

<https://www.fukudaroad.co.jp/news/5099/>

丸善土木株式会社

所在地 長野県松本市南原二丁目20番4号

従業員数 18人

事業内容 土木・舗装工事

(令和5年7月末現在)

健康経営に取り組むようになったきっかけ

健康経営への取り組みを強化することになったきっかけは、従業員の有所見率の高さでした。疾病の改善や健康保持について、全国土木建築国民健康保険組合の東京健康支援室に相談させていただき、健診内容やオプションをどうグレードアップさせていくかを議論してきました。その中で健康経営としての取り組みや健康経営優良法人認定制度についても情報提供があり、働きがいのある職場づくりと職場だけではなく家族の健康にも力を入れるため毎年様々な提案をいただきながら、可能な限り実践しております。また、2021年度から重点課題として取り組んでいる『こころの健康づくり』ですがストレスチェックの実施だけではなく、2023年度は睡眠モニター機能付きスマートウォッチを配布し、睡眠を数値として可視化する取組を進めています。「からだ」と「こころ」の両方の健康を保持できるように最新の情報等を取り入れ活動していきたいと思います。

特に力を入れた取り組みとその効果

- ① 定期健康診断受診率100%の徹底に加え、30歳以上の従業員は人間ドックに変更した。(各種補助制度の説明を行い「女性特有の健診等」オプション追加も可能)
- ② 食生活の改善として2022年度に塩分計を全社員に配布
- ③ 運動の推進として2020年度にバランスボールを全社員に配布、kencomで年2回開催されている「歩活」への参加
- ④ 感染症対策として2021年度には「マスク・アルコール消毒液」の配布や各工事現場へのアルコール消毒液の設置を行った。
- ⑤ こころの健康づくりの活動として2021年度からストレスチェックの実施を行っている。
※2023年度はヘルスアップチャレンジ助成金を活用し、睡眠モニター機能付きスマートウォッチを購入・全社員に配布
- ⑥ 社内インターネットを利用し、どけんぼ保健師・管理栄養士作成の動画配信や東京健康支援室発行の「けんこう通信」の配信
- ⑦ 禁煙対策として屋外喫煙所の設置



スマートウォッチを配布し、睡眠とこころの健康づくりに役立てます

厚労省「こころの耳」サイトを利用して睡眠の大切さを学ぶ



ホームページ

<https://www.maruzendoboku.co.jp/pages/38/>

株式会社奥村組

所在地 大阪府大阪市阿倍野区松崎町2-2-2

従業員数 2,265人

事業内容 総合建設業

(令和6年3月末現在)

健康経営に取り組むようになったきっかけ

当社では、「社員一人ひとりが心身ともに健康であること」を念頭に、職場で働く全ての社員が元気にいきいきと働ける環境を整備すべく、2021年10月に社長を健康管理最高責任者(CHO)とする「健康経営推進体制」を構築のうえ、全社に向けて「健康経営宣言」を発信しました。

また、当社の長期ビジョン「2030年に向けたビジョン」の一つとして「人を活かし、人を大切に、社員が誇れる企業へ」を掲げており、これらを実現するためにも、健康経営を推進し「従業員幸福度」を向上させることが大切だと考え、様々な健康経営施策に取り組んでいます。

特に力を入れた取り組みとその効果

当社では、役職員の健康増進のために、自発的に健康的な行動をとった役職員にポイントを付与し、貯まったポイントは商品に交換できる健康ポイントシステムを導入しています。「1日6000歩達成」、「毎日朝食を食べる」、「睡眠6時間以上」などに対してポイントを付与、毎日の生活習慣の中で健康への意識が向上することを目指しています。また、今年度は「運動と健康」をテーマに、全支社店で平均歩数を競う社内イベントなど、職員が楽しく健康になれる取り組みを実施しています。

また、昨年度より人間ドック受診時の会社補助を拡充しました。補助対象年齢を30歳に引き下げ、オプション検査項目に脳ドックの追加等を行った結果、多くの役職員が利用しています。

加えて健康保持のための施策として「2025年1月1日より就業時間中の禁煙と全常設事業所の喫煙所廃止」とする社長名の「禁煙宣言」を全役職員に向け発信し、一人でも多く禁煙に成功できるよう毎月禁煙に関する情報を発信するなどの禁煙施策に取り組んでいます。



社内イベント
“目指せてっぺん”



禁煙宣言

ホームページ

健康経営！サステナビリティ！奥村組 (okumuragumi.co.jp)
https://www.okumuragumi.co.jp/health_management/

西日本高速道路ファシリティーズ株式会社

所在地 大阪府茨木市東中条町1番6号 あいおいニッセイ同和損保・茨木ビル **従業員数** 640人

事業内容 高速道路の通信設備、建築・建物施設の維持管理業務 (令和5年7月末現在)

健康経営に取り組むようになったきっかけ

西日本高速道路ファシリティーズ株式会社では、平成25年秋に健康管理室を設置しました。それまでは、健康診断結果に「要再検」や「要受診」となっているにもかかわらず、「就業上問題ない」との産業医判断があれば、その後の健康管理は社員任せでした。

しかし、社員任せでは会社の大切な財産である社員の健康を守れません。そこで、健康管理室を設置してからは、積極的に社員の健康保持・増進への取り組みを進め、社員全員が毎日生き活きと仕事ができ、ポジティブに、また自然に健康管理ができる職場づくりを目指しました。

そうした取り組みを継続的にを行い、現在に至っては、健康管理を経営的視点から捉え、社員の健康維持・増進を目的とした取り組みを戦略的に実践しています。

特に力を入れた取り組みとその効果

当社では健康診断で「要精密検査」「要治療」と診断された社員に対して、適切な二次健診先の予約ができる医療機関との連携を構築しています。これにより、忙しい業務の合間を利用して受診することが可能となり、二次健診の受診率向上にもつながっています。

並行して、当社では30歳以上の社員は人間ドックの受診を推奨しており、会社での受診費用補助も制度化しています。（1日人間ドック利用：会社が9割負担）

また、令和3年度からは喫煙率の低下を目的に「禁煙の日」を設け、メール配信やポスターを社内掲示して取り組みを始めました。令和5年度からは禁煙プログラムを会社主導で計画し、一人でも多くの社員が禁煙のチャレンジが出来る取り組みを進めています。

今後も、社員が健康で生き活きと働ける風通しの良い職場環境を目指していきます。



産業医による
健康講演会



禁煙に向けた
取り組み（本社）

ホームページ

<https://www.w-nexco-fct.co.jp/healthmanagement/>

株式会社西日本科学技術研究所

所在地 高知県高知市若松町9番30号

従業員数 33人

事業内容 建設コンサルタント

(令和3年7月末現在)

健康経営に取り組むようになったきっかけ

弊社の企業理念は「地球規模で考え、自分の地域（持ち場）で行動する」です。所員一人一人が自分の力を十分に発揮するには健康が一番です。創業47年前から社員もその家族も健康にいられるよう変わらぬ方針を続けております。

社員の健康診断には、「忙しいから」を理由に受診をしない方がいないように社内で協力し全員が受診をしています。健康であることが活力向上につながり、笑顔で挨拶ができ、それが社会人としても企業人としても成長につながり、会社の発展へと繋がっていくと思います。

特に力を入れた取り組みとその効果

創業時に植えた楠（県の木）も今では社屋が見えないくらい大きく育っています。少し贅沢ですが、この庭があることによって季節感を肌で感じ五感も十分に働かせる一つと思います。春は鳥のさえずり、夏ならセミの声と一緒に仕事をしています。

当社は自然と環境を大切にする企業です。そのため、喫煙対策には創業時から特に力を入れています。室内禁煙はもちろんのこと外での歩きタバコも禁止しております。現在の喫煙率は5%となっています。

また、各部署間でのコミュニケーションを高め、風通しの良い明るい職場を目指しております。朝礼時に全員でラジオ体操を行い、お互いの健康の声かけをしています。毎年4月には防災を兼ねた徒歩通勤を行い、前年度との時間を比べ自身の体力がどう変化しているのか気づき、運動の取り組みを促進するきっかけに役立っています。



朝礼でのラジオ体操風景



ポスター掲示風景

ホームページ

<https://www.ule.co.jp/company/initiatives>

杉山建設株式会社

所在地 熊本市東区御領二丁目 14 番 64 号

事業内容 建設業

従業員数 15 人

(令和3年8月末現在)

健康経営に取り組むようになったきっかけ

建設現場では、喫煙しながらコミュニケーションをはかるのが一般的と捉えている方が多いためか喫煙率が高い。そのためか高血圧や脳梗塞などの生活習慣病にかかる従業員が多かった。

また、健康への意識が低く、定期的な健康診断の受診も従業員全員は難しい環境だったため、まず、健康診断の受診率を100パーセントにすることから始めたいと考えた。

従業員の健康維持に向けての意識改革・健康増進（定期健康診断の受診）、生活習慣病対策（禁煙・糖分の過剰摂取の抑制）、感染症対策に取り組むようになった。

特に力を入れた取り組みとその効果

健康増進を図るため、健康診断の受診率を100%にした。その健康診断結果に基づいてどけんぼの保健師・管理栄養士による保健指導も実施している。また、飲料に含まれる糖分の取り過ぎを防止するため、社内の自動販売機を撤去し、「水・お茶」などの糖分を含まない飲料を常備し、配布している。そのため、体重の大幅な増加は見られない。

禁煙対策のため屋内は禁煙とし、喫煙所を屋外に設置したところ、これまでは作業をしながら煙草を吸っていたが、作業を中断し喫煙をしなければならなくなったため、喫煙本数が減った人や禁煙に成功した人が数名みられている。

感染症対策のため、玄関、トイレなどにアルコールの設置、手洗いうがいを推奨するためのポスターを掲示した。昨年度及び今年度の感染症罹患者はいない。



社内冷蔵庫に常備している水・お茶



助成金を利用し購入した加湿空気清浄機

ホームページ

<https://ameblo.jp/sugiyama-corp/entry-12695433702.html>